

ちびまる子ちゃんの感想文

私は2週間前クラスでちびまる子ちゃんという映画を見始めました。ちびまる子ちゃんは韓国で見たことがあります、あまり興味がありませんでした。子供のアニメで少しくだらないことだと思っていた。

今度見た映画の話は小学校三年生のまるちゃんが学校で「めんこい子馬」という曲を習うことから始まります。最初は楽しい曲だと思ったまるちゃんは後で絵描きのお姉さんから曲の本当の意味を聞きます。そして、いろいろな事が起き、まるちゃんは最後に大好きな絵描きのお姉さんとおわかれますが、その経験のおかげで、もっと大人になります。

この映画のテーマは変わらない気持ちだと思います。まるちゃんはお姉さんともう会えないけど、お姉さんを好きな感情は変わらないままずっとまるちゃんの心にあるはず。そして、「めんこい子馬」の歌も同じテーマを持っています。子供の映画だったけど、感動的な要素がたくさんありました。

まるちゃんを見ていると、私も子供の時の友達や、大切だった人たちを思い出します。今はもう会えないけど、その時の記憶や感情はまだ私にあります。そしていろいろな人と会ったので、もっと大人になれたと思います。世界には楽しい事や悲しい事もあるから、そんな感情を経験するのはいいことです。

それ以外にも、ちびまる子ちゃんの映画が普通の日本人の生活を見せたので良かったと思います。小学校の生活や、日本の家、伝統的な結婚式などのことが面白かったです。男と女の言い方や大阪方言も初めて聞きました。

私も時々まるちゃんのような小学生の時に帰りたいです。子供の目で見える世界と今の私が見る世界はたぶんたくさん違うでしょう。でも、この映画で少しシミュレーションが出来たと思います。後でまた見たい映画でした。